

2017年度（第6期）

事業計画書

自 2017年4月1日

至 2018年3月31日

東京都千代田区神田錦町3 - 20 錦町トラッドスクエア5階

公益財団法人 読売日本交響楽団

2017 年度事業計画

2017 年 3 月 3 日

公益財団法人 読売日本交響楽団

(1) 収益力向上へ 3 つの基本方針

読売新聞、日本テレビ、読売テレビからの多額の支援に見合った効果を上げられるように、引き続き営業を強化していきたい。基本方針は以下の 6 点。

一、**(依頼公演の強化)** 依頼公演を増やし収益を上げる。依頼公演を獲得するための営業を強化する。ピアニスト辻井伸行による協奏曲の演奏会を東北、首都圏で計 9 回 (4~5 月) 行うほか、新国立劇場や日生劇場、二期会などの主催によるオペラを 17 公演予定している。提携関係にあるパルテノン多摩での依頼公演も含めて着実に成果を上げ、来年以降につなげていきたい。

二、**(55 周年事業の成功)** 読売日本交響楽団は 2017 年度、創立 55 周年という節目を迎える。記念ロゴも作成し、例年にも増して意欲的な演奏計画を立てている。記念公演であるメシヤンの大作歌劇「アッシジの聖フランチェスコ」(演奏会形式) は、120 人もの大編成のオーケストラと 7 人の独唱者、120 人の合唱と総勢 240 人以上が参加する巨大プロジェクトだ。サントリーホールで 2 回、びわ湖ホールで 1 回演奏する。全曲演奏するのは日本で初めて。この事業には、アフィニス文化財団から、500 万円の助成金が決まっている。

三、**(券売のてこ入れ)** 自主公演では、チケットがどれだけ売れているかを示す指標である「有料入場者率」の一層の向上を目指す。2015 年度は過去最高の 83.6% だったが、16 年度はさらに記録を更新する見通し。17 年度も何とかこの水準を保ちたい。

読響の会員は、サントリーホールが改修 (4~9 月) となるため、退会あるいは休眠による減少が予想される。減少幅を極力抑え、現状をキープするべく会員獲得に力を入れたい。

(2) 読響ファンの拡大策

読響の賛助会員は、これまでは主に企業向けを想定した一口 30 万円だけだったが、新たに個人向けの 1 万円を加える。経営基盤を強化するとともに、読響ファンを拡大するのが狙い。既に、多くのオーケストラがこうしたファン拡大策に取り組んでいる。読響としても出遅れを挽回すべく力を入れていきたい。

(3) 読売グループ内での連携強化

中央公論新社の月刊誌「中央公論」には、毎月読響の公演案内を掲載し、読者への招待券プレゼントを継続している。さらに、中央公論新社の月刊誌「マリ・クレール」の3月末発行号に常任指揮者カンブルランのインタビューを掲載する予定で、これを演奏会場でも配布することを検討中だ。

昨年末、読売エージェンシーの社内勉強会に読響の協賛営業の担当者を講師として派遣したが、読響は芸術・文化コンテンツとして利用価値があることを読売グループ内でもっと認識してもらうよう努力したい。

(4) 次期常任指揮者の決定へ

19年3月に任期を終えるカンブルランの後任の常任指揮者については、今秋までに後任の目途をつけ、具体的な条件交渉に入る方針だ。世界的な指揮者を起用したい。

なお、カンブルランの後任としてシュトゥットガルト歌劇場音楽総監督になるコルネリウス・マイスターは、4月から読響の首席客演指揮者に就任する。

(5) 出版事業で読響をアピール

読響の55周年を記念し、「クラシック・コンサート解体新書 読響の舞台裏から」(仮題)を出版する方向で準備を進めている。これにより、読響の知名度は全国的に向上し、読売グループのイメージアップにも貢献できると考えている。岩城宏之、小澤征爾ら指揮者、あるいはプレイヤーがオーケストラの舞台裏を描いた書籍はあるが、オーケストラの事務局が書いたものはない。クラシックのコンサートがどのようにして作られていくのか、日本のプロのオーケストラの仕組み、楽員や事務局員の日常生活と意見、指揮者らによる座談会、カンブルランのインタビューなど多彩な内容を盛り込み、読響のファン拡大につなげたい。

(6) 日本テレビとの協力

5月にはカンブルランが力をいれるメシアンの大作「彼方の閃光」を放送するほか、55周年記念の「アッシジの聖フランチェスコ」の取材、放送も予定している。公開録画では読響の楽員をクローズアップした演奏会も計画中。

動画配信に関してはさらに内容の拡充を図りたい。オンライン動画配信サービス「Hulu」では、読響の演奏会映像を配信する方針で検討を開始した。

2017年度 事業計画一覧

I. 自主公演（国内）	64回
1. 定期演奏会	10回
2. 名曲シリーズ	10回
3. 土曜マチネーシリーズ	10回
4. 日曜マチネーシリーズ	10回
5. みなとみらいホリデー名曲シリーズ	8回
6. 大阪定期演奏会	3回
7. 読響アンサンブル・シリーズ（室内楽）	4回
8. 特別演奏会	9回
（内訳）	
首都圏特別	7回
地方特別	1回
第九公演	1回
II. 依頼公演	46回
1. 首都圏公演	34回
2. 地方公演	10回
3. テレビ出演	2回
I+II 小計	110回
III. その他公演	71回
1. ハートフルコンサート	8回
2. フレンドシップコンサート	7回
3. サロンコンサート	41回
4. その他アンサンブル公演	15回
I+II+III 合計	181回